

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.53 February 2017

第4回研究会を開催 11月26日(土)

第4回研究会は、25名の会員・機構研究員が参加し「関西大学 施設見学会」を行いました。研究会は千里山キャンパス内、学術フロンティア・コア（FSC）3階会議室にて本振興会企画担当である株式会社アスク 武内博資氏の司会により開会しました。

はじめに西村哲郎会長より、新体制になった振興会の今後の活動方針に関する講演がありました。これまでの振興会の歴史を振り返りながら、改めて振興会の役割を見直し、これからの取り組み方針について説明がありました。具体的には、本学理工系学部の研究開発を支援・奨励し、産学連携によって研究成果の社会実装を促進することが重要であり、そのためには外部との積極的な情報交流を通じて更に会員数を増強し財政的基盤を強固にすると共に、優れた研究成果の抽出・支援を強化する必要性が述べられました。

続いて、先端科学技術推進機構長でありイノベーション創生センター長である石川正司教授より、関西大学創立130周年記念事業として9月に竣工したばかりの“イノベーション創生センター”設立の目的・意義をご紹介いただきました。それは即ち総合大学としての利点を活かし人文・社会・自然科学系の力を融合させることで、科学技術開発のみならずビジネスモデルを含めた新たな社会イノベーションの創生を目指す産学官連携のハブ大学としてのセンター機能であるとのことでした。

講演後、実際にイノベーション創生センターを見学し、その後、場所を梅田に移して、同じく9月に竣工した“梅田キャンパス”の見学会を行いました。



西村会長



石川教授

1 イノベーション創生センター見学



イノベーション創生センターの3つのフロア（B1階、3階、4階）からなる“実験研究エリア”は、文科省補正予算で導入された最先端の研究機器群や企業連携のためのセキュリティを備え、すでに多様な研究プロジェクトが入居しています。2階にある“対話スペース”は、学際的研究、文理融合、企業間連携のためのコミュニケーションを担保し、セミナーなどの各種イベントも開催できます。同じく2階の“ベンチャーオフィス”には本学教員や学生によるベンチャーが複数入居できる環境を整備し、金融機関とも連携して益々の発展が期待されます。

参加者からは、1階にはカフェを併設した明るく自由な雰囲気の施設を実際に見学でき、未来を創造するイノベーション拠点の意義を実感できたとの声が聞かれました。

2 梅田キャンパス見学



10月にオープンしたばかりの梅田キャンパス（愛称^{カンダイミライズ}KANDAI MeRISE）は、100年の歴史を閉じた天六学舎の伝統を継承し、社会人向けの学び直し大学院プログラムや各種生涯学習講座をはじめ起業支援や会員制の異業種交流サロンなど新しい事業を展開しています。館内には“キャリアセンター梅田オフィス”を併設し、関大生の進路相談・就職支援も行います。1、2階にはTSUTAYAやSTARBUCKSが入居しており、誰もが気軽に立ち寄れる洒落た空間に起業支援窓口“スタートアップカフェ”を開設し多様な人々にサポートを提供します。3、4階の会員制異業種交流サロン

“KANDAI MeRISE 倶楽部”は、2000冊以上の図書が自由に利用できるゆったりとした上質な空間となっており、異業種の会員同士のネットワーク構築ができます。当日はイベントなどが開催されていて見学できませんでしたが、6、7階の各

セミナールームでは“社会人学び直し・生涯学習プログラム”を受講でき、8階の“KANDAI Me RISE ホール”では大規模な講演会やレセプションも開催されています。

見学の後は会場を移し、一年の労をねぎらい忘年会で研究会を締めくくりました。

アンケート集計結果

今回は13名の方にご回答いただきました。研究会の内容については、69%の方から「興味深い」「やや興味深い」との回答を得ました。中でも“イノベーション創生センター”について「関心がある」「やや関心がある」は77%、「梅田キャンパス」について「関心がある」「やや関心がある」は69%でした。

また、「関心のある技術分野」については、「ものづくり・加工」「機械・メカトロニクス」との回答が多く、「知りたい情報」については、「実用化が期待される研究成果」との回答が多くありました。これらの結果を、今後の研究会活動に反映するよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第5回研究会を開催～第21回先端科学技術シンポジウムに参加～



科学技術振興会では、1月19日（木）、20日（金）に開催された第21回先端科学技術シンポジウムにおいて、振興会セッションとして、第5回研究会を開催しました。本振興会の活動を紹介するパネルを展示し、会員をはじめ同シンポジウム参加の多くの方々にご覧いただきました。

同シンポジウムは先端機構における一年間の研究成果の集大成として、回を重ねるごとに盛況となり、今年も2日間で企業や研究機関等から延べ1,000人を超える方々がご来場されたとのこと。本振興会はこのシンポジウムを後援しており10万円の寄付をいたしました。

お知らせ：表彰規程による各賞の募集について

「産学連携賞」および「技術開発賞」の対象技術、製品等の募集について（ご案内）

関西大学科学技術振興会表彰規程第2条第2項および第3項により「産学連携賞」および「技術開発賞」につきまして、平成28年度の同賞対象の技術、製品等を募集しておりますので、奮ってご応募ください。

- | | |
|-----------|--|
| ■応募方法 | 応募申請書（別途案内）をご提出下さい。 |
| ■募集対象 | 平成28年度（H28.4.1～H29.3.31）中の成果技術、製品等を対象とします。 |
| ■募集締切日 | 平成29年3月31日（金） |
| ■応募申請書提出先 | 関西大学先端機構グループ 事務担当：前田、大野
〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
電話 06-6368-1178 FAX06-6368-0080
E-mail : sentan@ml.kandai.jp |

「産学連携賞」・「技術開発賞」応募についての留意事項

- ① 「産学連携賞」は、若手研究者の活躍と育成を礎として設けられたものであり、振興会会員企業と関西大学の教員との共同研究に限ります。
- ② 「技術開発賞」は、振興会会員企業で自社の技術開発に顕著な業績に対して設けられたものです。
- ③ 単なる学会発表、共同研究の学術的な面だけでなく、少なくとも新規性があり、特許申請中のものも含まれます。
- ④ 審査は、当振興会審査委員会で行います。
- ⑤ 同賞受賞の研究、技術、製品等は、当振興会総会開催時（H29.5月頃）に表彰（表彰状と副賞の贈呈）を予定しております。

振興会のホームページ

<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力してください

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University